

すべての学級に起こりうること①

学力向上も、生徒指導上の問題も、いじめも…

2019.08.28

No.75

校長 渡邊 幸二

2学期がスタートして7日目。朝晩めっきり涼しくなり、あの暑過ぎた夏が遠い昔のようで、でも、夏休み明けまだ1週間くらいしか経ってなくて…。何だか8月って長い気がします。9月は運動会、通知表配付、修学旅行、それに学習発表会に向けたスタート等、毎日かなり気忙しいと思います。少し先を見通しながら、夏の暑さで痛んでいる体を休め休めしながらお過ごしください。

全国学調、本校の結果

全国学力・学習状況調査ですが、先生方には先日資料をお渡ししましたように、6年生の成績は良かった、特に算数はかなり良かったようです。以前もお話しましたが、良さも悪さも浜田っ子の特質として、どの学年の子どもたちにも共通しているのでは、という見方をしたいと思います。

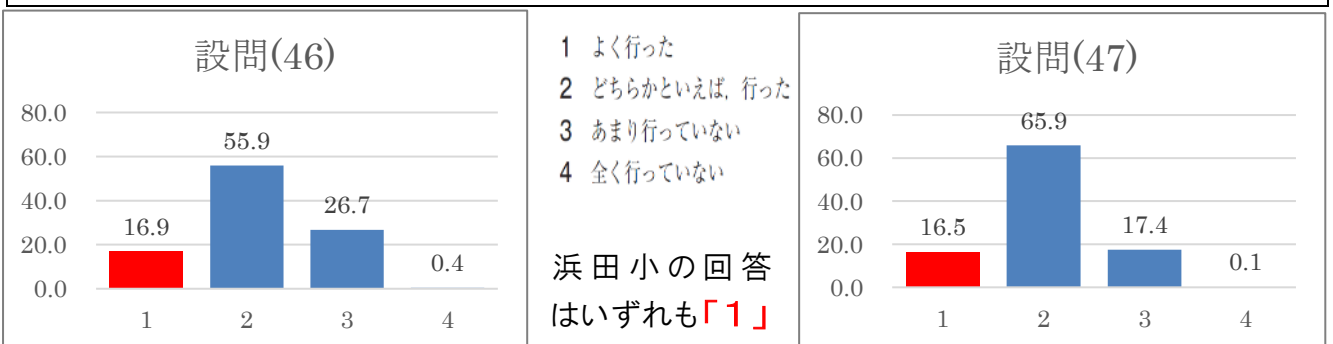
では、全国学調、特に算数が良かった背景にはどんなことがあるのでしょうか。共有フォルダから教務、全国学調と開いていくと細かな分析データを見ることができます。それから拾ってみたいと思います。

まず、「学校質問紙」から…

これは、実は教務主任が回答しているので、担任との意識のずれは若干あるかもしれませんが、私はその通りじゃないかと思って決済しました。算数に関する設問は4つあったのですが、全国平均(県もほぼ同じ)と比較した際、際立って違うと思われた以下の2つの設問・回答を紹介したいと思います。

(46) 調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか。

(47) 調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか。



昨年度より、「ジャンプの課題」や「学び合い」を中心とした学びの共同体としての学校研究を進めてきましたので、これはどの学年にも言えることだと思います。

ただこれは、教師の思いだけであって、実際子どもたちがどう思っているか、どう実践しているかはわかりません。

では次に、「児童質問紙」を見てみます。

